



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月5日

上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長

(氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成28年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	13,243	△3.1	303	△32.4	326	△33.2	225	△29.1
28年5月期第1四半期	13,668	6.1	449	43.5	488	45.4	317	50.0

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 224百万円 (△27.1%) 28年5月期第1四半期 307百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	19.20	—
28年5月期第1四半期	27.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第1四半期	37,663	16,234	43.1	1,382.67
28年5月期	43,186	16,198	37.5	1,379.56

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 16,234百万円 28年5月期 16,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	11.00	—	16.00	27.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	11.00	—	14.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年5月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	58,100	0.0	2,050	△4.4	2,200	△3.6	1,470	0.3	125.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年5月期1Q	11,772,626 株	28年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年5月期1Q	31,252 株	28年5月期	31,189 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年5月期1Q	11,741,411 株	28年5月期1Q	11,742,456 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成28年8月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くものの、企業収益に足踏みがみられることや、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気下振れによるマイナス影響が続き、加えて、イギリスのEU離脱問題が、わが国経済の不透明感に拍車をかける状況となっております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、北海道などを襲った大雨により農業生産が多大な影響をうけるなど、農家経営が圧迫される要因が多々みられております。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業が順調だったものの、施設材事業がこれまで大きく伸長した反動などから低調に終わり、前年同期と比べ後退いたしました。

売上高132億43百万円で前年同四半期比4億25百万円（3.1%）の減収となり、利益面でも営業利益3億3百万円で前年同四半期比1億45百万円（32.4%）減、経常利益3億26百万円で前年同四半期比1億61百万円（33.2%）減、親会社株主に帰属する四半期純利益2億25百万円で前年同四半期比92百万円（29.1%）減となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でレタスの国内販売が増加したものの、ニンジンの国内販売やキャベツの輸出が減少し売上高19億63百万円で前年同四半期比微減となりました。

利益面においては、人員増に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより、セグメント利益は3億55百万円で前年同四半期比2.6%減となりました。

花き事業

花き事業においては、球根の販売において納入時期が後ずれしたことや家庭園芸資材の需要低迷の影響などから、売上高17億57百万円で前年同四半期比4.0%減となり、セグメント損失も42百万円（前年同四半期のセグメント損失は33百万円）と損失が拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

農材事業

農材事業においては、新規商材の積極的な営業展開やシェアアップにより、売上高65億14百万円で前年同四半期比5.5%増となり、セグメント利益も1億19百万円で前年同四半期比7.3%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、養液栽培関係での増収があったものの、前期、前々期と業績上積み要因となった雪害復旧需要が一巡したこと、売上高29億64百万円で前年同四半期比19.0%減となり、セグメント利益も86百万円で前年同四半期比59.8%減となりました。

造園事業

売上高43百万円で前年同四半期比15.8%増となったものの、セグメント損失は4百万円（前年同四半期のセグメント損失は2百万円）と損失が拡大いたしました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、376億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して55億23百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金や商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、214億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して55億60百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、162億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月11日の「平成28年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,225,368	4,069,935
受取手形及び売掛金	22,162,699	17,124,397
商品	7,254,228	6,248,038
その他	1,343,698	2,059,092
貸倒引当金	△76,747	△60,006
流動資産合計	34,909,248	29,441,456
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,196,523	4,196,523
その他（純額）	1,714,512	1,684,913
有形固定資産合計	5,911,036	5,881,437
無形固定資産	55,534	47,888
投資その他の資産		
その他	2,323,724	2,307,309
貸倒引当金	△12,564	△15,080
投資その他の資産合計	2,311,159	2,292,229
固定資産合計	8,277,730	8,221,556
資産合計	43,186,978	37,663,012
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,501,299	14,459,451
短期借入金	935,000	4,035,000
未払法人税等	367,467	104,337
その他	1,274,069	932,747
流動負債合計	25,077,836	19,531,536
固定負債		
退職給付に係る負債	1,658,399	1,664,003
役員退職慰労引当金	127,075	108,900
その他	125,617	124,142
固定負債合計	1,911,091	1,897,046
負債合計	26,988,928	21,428,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	12,835,421	12,872,976
自己株式	△20,984	△21,066
株主資本合計	16,070,925	16,108,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518,337	506,022
退職給付に係る調整累計額	△391,212	△379,991
その他の包括利益累計額合計	127,125	126,031
純資産合計	16,198,050	16,234,429
負債純資産合計	43,186,978	37,663,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)
売上高	13,668,959	13,243,935
売上原価	11,492,354	11,201,124
売上総利益	2,176,604	2,042,811
販売費及び一般管理費	1,727,459	1,739,272
営業利益	449,144	303,538
営業外収益		
受取配当金	14,774	15,431
受取家賃	15,625	14,216
その他	17,659	5,185
営業外収益合計	48,059	34,833
営業外費用		
支払利息	8,985	6,960
為替差損	—	5,106
営業外費用合計	8,985	12,067
経常利益	488,219	326,303
特別損失		
固定資産処分損	30	28
特別損失合計	30	28
税金等調整前四半期純利益	488,188	326,275
法人税等	170,329	100,856
四半期純利益	317,859	225,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,859	225,418

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日）
四半期純利益	317,859	225,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,971	△12,314
退職給付に係る調整額	1,824	11,220
その他の包括利益合計	△10,147	△1,093
四半期包括利益	307,712	224,324
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,712	224,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年6月1日 至平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,968,253	1,830,746	6,174,068	3,658,685	37,207	13,668,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,035	36	303	780	—	13,154
計	1,980,288	1,830,782	6,174,371	3,659,465	37,207	13,682,113
セグメント利益又は損失（△）	365,113	△33,522	111,628	216,090	△2,685	656,624

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	656,624
全社費用（注）	△207,480
四半期連結損益計算書の営業利益	449,144

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,963,924	1,757,987	6,514,653	2,964,291	43,080	13,243,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,712	45	953	465	—	12,175
計	1,974,636	1,758,032	6,515,606	2,964,756	43,080	13,256,110
セグメント利益又は損失（△）	355,791	△42,740	119,792	86,853	△4,478	515,218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	515,218
全社費用（注）	△211,680
四半期連結損益計算書の営業利益	303,538

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。